

わたしの闘病日誌

前立腺肥大症 男性(74)

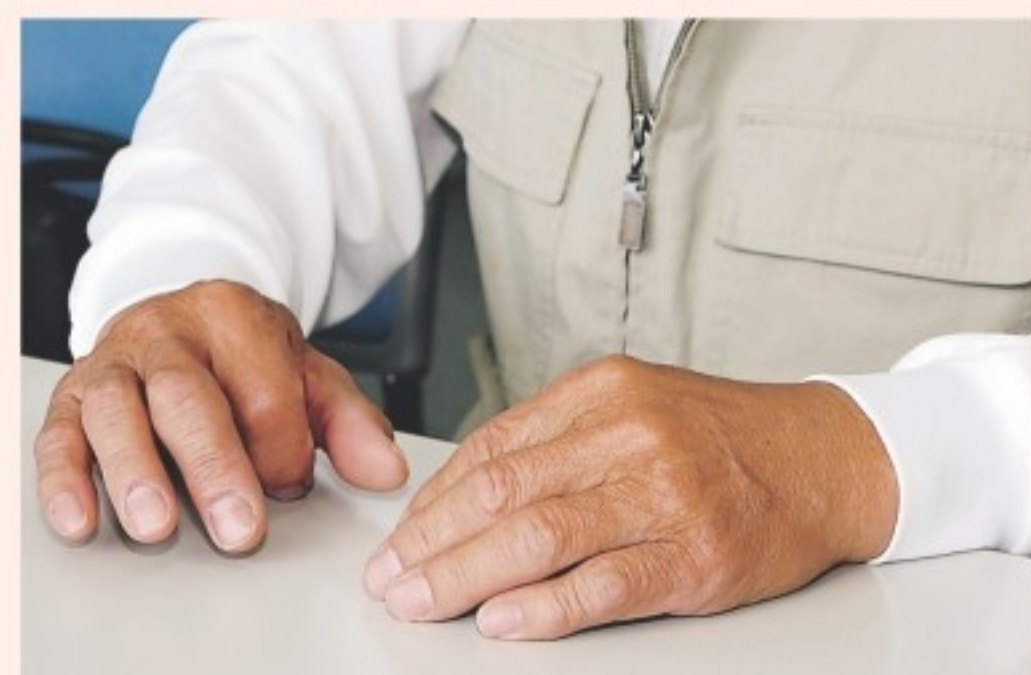
＝神戸市在住＝

8年ほど前、66歳で退職した少し後くらいから、頻尿や残尿感、尿の出にくさを感じるようになりまし

それからは、ずっとトイレのことを心配しながらの生活で、とても不便でした。就寝中も3、4回トイレに起きるのですが、チョロツトしか尿が出ず、すっきりしません。再び勢いよく爽快に、と願い、水をたくさん飲む習慣ができました。

日中も1時間に1度はトイレに行きますので、外出先では、必ず最初にトイレの場所を探します。スーパーに行く際、心配でおむつをつけて出かけたこともあります。

4年前に地元のクリニックを受診し、前立腺肥大症と診断されました。すぐに尿の通りを良くするα1遮断



薬の一つ、シロドシンを飲み始めました。出し切ることができるようになったので、就寝中にトイレに起きる回数も少し減り、飛行機で北海道や沖縄旅行にも行けるようになりました。

薬である程度良い状態を維持できていましたが、通院の負担も大きく、どうにかしたいと考えていたところ、自分で探した原泌尿器科病院で「経尿道的水蒸気治療」(WAVE治療)を勧められました。

WAVE治療のことは新聞で読んだことがありました。海外でも高い評価を受けているということで、不安よりも期待が大きかったです。手術は今年4月上旬に受けました。全

身麻酔で痛みもなく、1泊の入院で済みました。

尿道が急激に広がっているため、術後1週間はおむつを着けて過ごしました。手術から10日ほどたつと、血尿がほんの少し残る程度になり、約2週間後には排尿もスムーズになり、耳に届く音が違うくらい勢い良くなりました。

その後少し症状が逆戻りしたように感じた時期もありましたが、効果がしっかりと出るまで3カ月くらいかかる、と言われているので、症状改善を祈りながら様子を見ています。

術後、面倒な飲み薬は必要なくなりましたし、いすれ通院しなくて済むようになるということです。

願うのは、トイレを気にしなくていい日常が戻ってくることです。もう少し時間がたち、効果が安定すれば、また旅行に行きたいと考えています。

(聞き手・竜門和諒)

手術後2週間で排尿スムーズに

ご意見お寄せください

シリーズ「病を知る一ひょうご」に、ご意見や体験を250字以内でお寄せください。採用分を「読者のつぶやき」のコーナーで紹介いたします。

応募の際、お名前、年齢、住所、連絡先(携帯電話番号やメールアドレス)、匿名希望の方はその旨も明記を。ファクス078・360・0629、メールiryu@kobe-np.co.jp

◆連載「病を知る一ひょうご」は、毎月第1月曜に掲載します。次回は7月1日です。

「前立腺肥大症」は、その名の通り、前立腺が大きくなって、尿道を圧迫する病気だ。排尿トラブルが生じ、薬物療法で改善しないときは、前立腺を切除したり、蒸発させたりする手術が中心になる。ただ、高齢者などは、従来の手術が難しいケースが少なくない。2022年、こうした患者を対象に登場したのが「経尿道的水蒸気治療」(WAVE治療)だ。水蒸気を使った新たな手術法とは。(竜門和諒)



27

前立腺肥大症

最近1カ月間でどれくらいの頻度で以下の症状があったか?

- ① 排尿後に尿が残っている感じがする
- ② 排尿後2時間以内に、また排尿しなければならない
- ③ 排尿中に尿が何度も途切れる
- ④ 排尿を我慢することが難しい
- ⑤ 尿の勢いが弱い
- ⑥ 排尿をし始めるためにおなかに力を入れなければならない
- ⑦ 就寝中に排尿で1日に平均〇回起きる(1回を1点とする)



水蒸気使う新たな手術法

手術難しい例も

診断は、残尿感や就寝中にトイレに行く回数などを点数化し、重症度を測る「国際前立腺症状スコア(IPSS)」や、尿検査、超音波検査などで行う。その上で、前立腺の大きさや生活の質(QOL)などを考慮しながら、治療方針を決める。

治療では、肥大が進んでいない軽症の場合、薬物療法で様子を見る。最も一般的な薬が、前立腺の筋肉を緩め、尿の通りを良くする「α1遮断薬」だ。このほか、前立腺の筋肉につながる神経に働きかける薬剤や、男性ホルモンの働きを抑える薬も使われる。

薬で十分な効果が得られない「前立腺肥大症の治療の目的の一つは、生活の質の向上」と話す井上貴昭医師。手にするのは「WAVE治療」の器具。神戸市中央区北長狭通5、原泌尿器科病院

負担少ないが対象者は限定的

前立腺肥大症の最新治療法「WAVE治療」以外にも近年、複数の治療法が登場している。その一つが、2022年に公的医療保険の対象になった経尿道的前立腺吊り上げ術(ウロリフト)で、専用器具で前立腺を吊り上げて尿道を広げる。また、23年にはロボットが自動で前立腺を切り取る手術「アクアビームロボットシステム」が公的医療保険の適用に。それぞれの治療法の実施の有無や詳細については各医療機関に確認を。

9秒間注入。これを何度か繰り返し、組織の温度が約70度に下がる過程で、肥大した組織を壊死させ、尿道を広げる。メリットは多い。治療時間は10分程度と従来の手術の1~2時間よりも大幅に短く、組織を切ることもないので体の負担が少ない。全身麻酔ではなく、局所麻酔で行うケースもある。

同病院は23年2月から、WAVE治療を開始。手術時間は平均約9分で、日帰りか1泊の入院で対応でき、今では前立腺肥大症の手術件数全体の半数程度を占めるという。

一方で、対象者が限定的で、肥大の程度が大きすぎても対応できず、排尿障害や血尿などの合併症が起きることも。また効果が表れるまでに時間がかかるのも短所だ。壊死した細胞が徐々に体内に吸収されるため、術後約1カ月で効果が感じられるようになり、3カ月後くらいで最も良い状態になるとされる。

井上医師は「WAVE治療は出血がほぼなく、これから広がっていく治療法だ」とした上で、「前立腺肥大症の治療法は多様化しており、泌尿器科の専門医とよく相談して、自分に適した方法を探してほしい」と話している。

